

あなたはどちらがいいですか？

ニワトリのほとんどが、右側のような状態で死ぬまで過ごします。



放し飼い

ケージ飼い



こんな暮らしはもう、ケッコウ！

こう叫んでいるニワトリたちの声に耳を傾けてください

ニワトリはどこで飼育されている？

かつてニワトリは庭先で地面の虫や草をついぱんでいました。けれども今ではどこにもニワトリの姿は見えません。この数十年、卵や鶏肉の消費量は何十倍にも増大しているのに、なぜ生きたニワトリの姿が見えないのでしょうか。それは人の目に見えない場所に隔離され、恐ろしいまでの過密状態で飼育されているからです。



安い卵の流通はこのようなニワトリたちの犠牲の上に成り立っています。



1羽のスペースはB5ノートの広さ

卵を産むニワトリたちは、段重ねの金網の仕切りの中に閉じ込められています。一つの区切りに4~6羽が入れられ、1羽当たりのスペースはB5判のノート大の広さです。向きを変えることも、羽ばたくこともできません。窓のない鶏舎の中、身動きさえまともならぬ過密状態で飼育されているため、ストレスで病気になり体はぼろぼろです。弱ったニワトリは治療されることもなく、1年半という短い命を終えます。



ニワトリを健康にするのは簡単です

ニワトリの数を減らし、戸外に出して、緑の草や虫をついばめるようにしてやればいいのです。そのためには、私たちが卵を買うとき、どのように飼育されたニワトリの卵かを確認することです。戸外で放し飼い(平飼い)にし、ストレスなく、自然な餌を食べているニワトリの産む卵こそが、安全で人の健康にもよく、環境にもよりよいものです。ニワトリの健康と福祉「アニマルウェルフェア」を向上させましょう。



資料請求は…

NPO法人
地球生物会議
ALIVE

〒113-0021 東京都文京区本郷込5-18-10-102

Tel 03-5978-6272 E-mail alive-office@alive-net.net

Fax 03-5978-6273 HP http://www.alive-net.net/



ALIVE
All Life in a Viable Environment
地球生物会議

あなたはどちらがいいですか？

日本の乳牛のほとんどが、右側のような状態で死ぬまで過ごします。



こんな暮らしはモウ、たくさん！

こう叫んでいる牛たちの声に耳を傾けてください

牧場に牛たちの姿はありません

日本では145万頭もの乳牛が飼育されていますが、牧場でのびのびと草を食べている牛はごくわずかです。特に草地のない本州では、ほとんどの乳牛が牛舎につながれ、たたみ1枚ほどのスペースで生きています。日本の風土で飼育できる限度を超えた多頭飼育が、牛の健康や環境に大きな悪影響を与えてています。

首かせをされ、ふり向くこともできない



牛を牛らしく育ててほしい

問題の解決は簡単です。牛の数を減らし、青草を食べさせ、戸外で運動させ、本来の姿にもどしてやればいいだけなのです。



資料請求は…

NPO法人 地球生物会議 ALIVE Tel. 03-5978-6272 E-mail alive-office@alive-net.net
Fax 03-5978-6273 HP http://www.alive-net.net/

牛たちは骨身を削って乳を出しています

牛は、草を食べる動物なのに、脂肪分の多い乳を大量に搾取るために、大量の穀物が与えられています。そのせいで牛たちは乳房炎や胃潰瘍などのさまざまな病気にかかります。適切な環境で放し飼いにしていれば十数年は健康で生きられるのに、わずか5歳ほどで「廃牛」とされ、屠殺場に送られます。

牛たちの骨身を削ってミルクが搾られる



『乳牛と私たち』を見よう!!

ALIVE ビデオ&DVD

乳牛は、どこで、どのように飼育されているのか、消費者にはほとんど知られていない衝撃の現実を撮影。日本で初めての畜産動物の福祉ビデオです。

ビデオ 乳牛と私たち

1本2,000円+送料

DVD 畜産動物たちの物語

(『乳牛と私たち』+3作品収録)

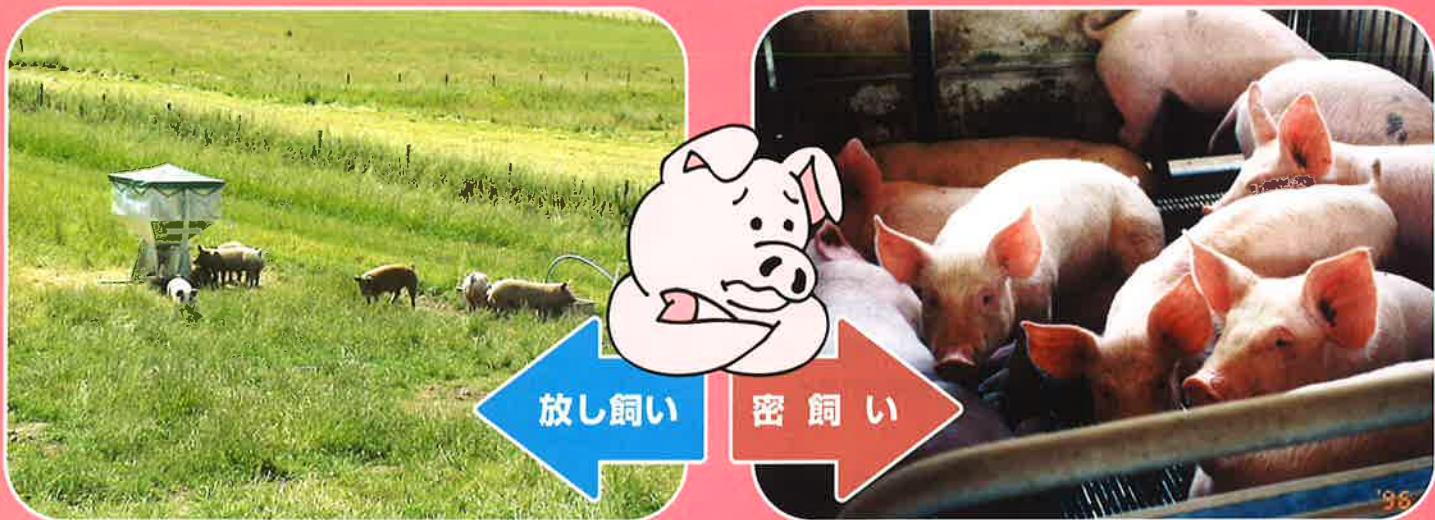
1本4,500円+送料

お申込みは、地球生物会議へ。



あなたはどちらがいいですか？

豚のほとんどが、右側のような状態で死ぬまで過ごします。



こんな暮らしに、ブーイング！

こう叫んでいる豚たちの声に耳を傾けてください

豚の姿を見たことがありますか？

日本人が最も多く食べている肉は豚の肉です。それなのに日本人のほとんど誰もが、どのようにして豚が生まれ、どのようにして飼育され、どのようにして肉にされているのか、その過程を知りません。もし人々が豚の飼育実態を知つたら、おそらく非難の声(ブーイング)がわき起こるでしょう。



屠殺場へ追い立られる

豚の悲鳴に耳を傾けてください。

豚たちは、人里はなれた場所で、窓のない豚舎の中、何千、何万頭という数で飼育されています。狭い仕切りの中に、10~20頭が入れられ、身動きさえままならぬ過密状態で飼育されているため、ストレスで病気になり体はぼろぼろです。病気を押さえ込むために様々な薬剤が与えられ、薬漬けの一生を過ごします。



窓のない豚舎が
山中に建ち並ぶ

豚を健康にするのは簡単です。

豚は遊び好きで活発な動物です。戸外に出して、鼻で土を掘ったり、泥浴びをしたり、地面に寝そべったり走ったりできるようにし、豚本来の生き方をさせてやればいいのです。そのためには、お店で、豚がどのように飼育されていたかを確認できるような表示をしてもらうことが必要です。豚の健康と福祉「アニマルウェルフェア」を向上させましょう。



資料請求は…

NPO法人
地球生物会議 All Life In a Viable Environment (ALIVE)
〒113-0021 東京都文京区本郷5-18-10-102
Tel 03-5978-6272 E-mail alive-office@alive-net.net
Fax 03-5978-6273 HP http://www.alive-net.net/

